

## 護身術講習で 防犯意識向上

宮崎市の病院

宮崎市恒久の巴外科内科  
(巴寛院長) は15日、医療や



介護スタッフ向けの護身術講習を開いた。同院の職員たち24人が、不審者が侵入したときの心構えや対応を学んだ。写真。

日本防犯安全振興財団(東京都)の九州担当専任講師で、県警OBの西本正弘さん(71) 同市吉村町IIが講師を務めた。西本さんは「『もしかしたら襲われるかも』と日頃から意識すること、実際に遭遇し

たときに落ち着いて行動できる」と説明した。

また、腕をつかまれたときの対処法として、「手首を曲げ、勢いよく引けば逃げられる」「なるべくとがった物で相手の手の甲を突き刺すとよい」などとアドバイスした。

同院看護師長の東山広子さん(44)は「セキユリティも大事だが意識も大切と痛感した」と話した。

宮崎日日新聞

平成30年6月15日(金)

宮崎市大字恒久寺の前5988番地

医療法人 常聖会 巴外科内科病院にて